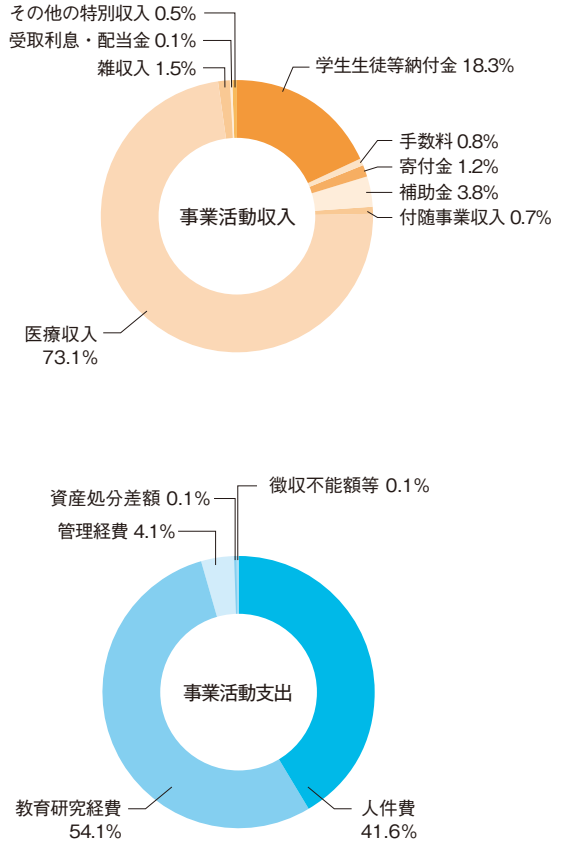


1. 平成30年度事業活動収支計算書 (平成30年4月1日から平成31年3月31日まで) (表1)

(単位:千円 端数未調整)

科目	予算額	決算額	差異	構成比(%)
<b>教育活動収入の部</b>				
学生生徒等納付金	19,927,433	19,876,273	51,160	18.3
手数料	740,618	921,697	△ 181,079	0.8
寄付金	1,220,960	1,307,773	△ 86,813	1.2
経常費等補助金	4,261,367	4,130,508	130,859	3.8
国庫補助金	2,935,901	2,558,139	377,763	—
地方公共団体補助金	1,300,217	1,540,645	△ 240,428	—
学術研究振興資金	1,250	2,200	△ 950	—
若手・女性研究者奨励金	0	400	△ 400	—
その他の補助金	23,999	29,125	△ 5,126	—
付随事業収入	682,270	795,631	△ 113,361	0.7
医療収入	82,663,380	79,510,522	3,152,858	73.1
雑収入	992,553	1,651,886	△ 659,333	1.5
教育活動収入計	110,488,581	108,194,291	2,294,290	—
<b>事業活動支出の部</b>				
人件費	46,407,250	44,569,972	1,837,278	41.6
教育研究経費	59,492,417	57,940,222	1,552,195	54.1
管理経費	4,345,640	4,377,285	△ 31,645	4.1
徴収不能額等	95,210	68,748	26,462	0.1
教育活動支出計	110,340,517	106,956,228	3,384,289	—
教育活動収支差額	148,064	1,238,062	△ 1,089,998	—
<b>教育活動外収支の部</b>				
受取利息・配当金	72,743	68,944	3,799	0.1
その他の教育活動外収入	0	0	0	0.0
教育活動外収入計	72,743	68,944	3,799	—
借入金等利息	48,482	52,292	△ 3,810	0.0
その他の教育活動外支出	0	0	0	0.0
教育活動外支出計	48,482	52,292	△ 3,810	—
教育活動外収支差額	24,261	16,652	7,609	—
経常収支差額	172,325	1,254,715	△ 1,082,390	—
<b>特別収支の部</b>				
資産売却差額	0	0	0	0.0
その他の特別収入	187,747	572,290	△ 384,543	0.5
特別収入計	187,747	572,290	△ 384,543	—
資産処分差額	72,450	80,555	△ 8,105	0.1
その他の特別支出	2,000	53,235	△ 51,235	0.0
特別支出計	74,450	133,790	△ 59,340	—
特別収支差額	113,297	438,501	△ 325,204	—
[予備費]	99,000	99,000	0	—
基本金組入前当年度収支差額	186,622	1,693,215	△ 1,506,593	—
基本金組入額合計	△ 9,197,945	△ 6,187,916	△ 3,010,029	—
当年度収支差額	△ 9,011,323	△ 4,494,701	△ 4,516,622	—
前年度繰越収支差額	△ 122,211,139	△ 121,605,834	△ 605,305	—
基本金取崩額	0	268,897	△ 268,897	—
翌年度繰越収支差額	△ 131,222,462	△ 125,831,638	△ 5,390,824	—
(参考)				
事業活動収入計	110,749,071	108,835,525	1,913,546	100
事業活動支出計	110,562,449	107,142,310	3,420,139	100

平成30年度決算 事業活動収支 科目別構成 (図表1)



2. 平成30年度資金収支計算書 (平成30年4月1日から平成31年3月31日まで) (表2)

(単位:千円 端数未調整)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	構成比(%)
学生生徒等納付金収入	19,927,433	19,876,273	51,160	13.3
手数料収入	740,618	921,697	△ 181,079	0.6
寄付金収入	1,218,860	1,434,990	△ 216,130	1.0
補助金収入	4,403,114	4,369,660	33,454	2.9
国庫補助金収入	2,939,988	2,600,178	339,811	—
地方公共団体補助金収入	1,437,877	1,731,548	△ 293,671	—
学術研究振興資金収入	1,250	2,200	△ 950	—
若手・女性研究者奨励金収入	0	400	△ 400	—
その他の補助金収入	23,999	35,335	△ 11,336	—
資産売却収入	0	0	0	0.0
付随事業・収益事業収入	682,270	795,631	△ 113,361	0.5
医療収入	82,663,380	79,510,522	3,152,858	53.1
受取利息・配当金収入	72,743	68,865	3,878	0.0
雑収入	1,004,553	1,679,948	△ 675,395	1.1
借入金等収入	3,000,000	3,000,000	0	2.0
前受金収入	3,787,650	3,680,159	107,491	2.5
その他の収入	34,477,180	34,008,467	468,713	22.7
資金収入調整勘定(△)	△ 19,555,029	△ 17,441,698	△ 2,113,331	△ 11.6
当年度収入合計	132,422,772	131,904,513	518,259	—
前年度繰越支払資金	16,112,621	17,938,500	△ 1,825,879	12.0
収入の部合計	148,535,393	149,843,013	△ 1,307,620	100
支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	構成比(%)
人件費支出	45,268,363	44,465,785	802,578	29.7
教育研究経費支出	49,902,845	48,469,585	1,433,260	32.3
医療経費支出	33,701,320	33,651,046	50,274	—
管理経費支出	3,653,254	3,643,547	9,707	2.4
借入金等返済支出	48,482	52,292	△ 3,810	0.0
借入金等返済支出	2,287,910	2,287,910	0	1.5
施設関係支出	4,934,643	4,174,427	760,216	2.8
設備関係支出	5,783,232	5,010,170	773,062	3.3
資産運用支出	19,023,865	19,024,146	△ 281	12.7
その他の支出	14,858,077	14,759,073	99,004	9.8
予備費	99,000	99,000	0	0.0
資金支出調整勘定(△)	△ 14,204,723	△ 14,626,857	422,134	△ 9.8
当年度支出合計	131,654,948	127,260,078	4,394,870	—
翌年度繰越支払資金	16,880,445	22,582,935	△ 5,702,490	15.1
支出の部合計	148,535,393	149,843,013	△ 1,307,620	100

3. 活動区分資金収支計算書(抜粋) (平成30年4月1日から平成31年3月31日まで) (表3)

(単位:千円 端数未調整)

科目	決算額
<b>による資金収支</b>	
教育活動資金収入計①	108,181,507
教育活動資金支出計②	96,571,471
差引③(①-②)	11,610,036
調整勘定等④	1,250,506
教育活動資金収支差額⑤(③+④)	12,860,543
<b>による資金収支</b>	
施設整備等活動資金収入計⑥	4,427,470
施設整備等活動資金支出計⑦	14,012,915
差引⑧(⑥-⑦)	△ 9,585,444
調整勘定等⑨	499,511
施設整備等活動資金収支差額⑩(⑧+⑨)	△ 9,085,933
小計⑪(⑤+⑩)	3,774,610
<b>による資金収支</b>	
その他の活動資金収入計⑫	18,828,684
その他の活動資金支出計⑬	17,987,040
差引⑭(⑫-⑬)	841,644
調整勘定等⑮	28,181
その他の活動資金収支差額⑯(⑭+⑮)	869,825
支払資金の増減額⑰(⑪+⑯)	4,644,435
前年度繰越支払資金	17,938,500
翌年度繰越支払資金	22,582,935

活動区分資金収支計算書について

新会計基準になって初めての決算となった平成27年度より「活動区分資金収支計算書」を作成しています。「活動区分資金収支計算書」はこれまで作成していた「資金収支計算書」を3つの区分に分け(組替え)たものです。

「資金収支計算書」は、収入と支出が一覧で表示されているので分かりやすいという長所がありました。一方資金の調達と使用の原因分析が総合的にできない短所がありました。そこで、①教育活動、②施設整備等活動、③その他の活動に分類し、資金の流れを明確化することで、3つのどの活動区分から資金を調達し、どの活動区分に資金を使用したのか、学校の「資金体質」を把握することができます。